

2023年7月11日

各位

株式会社 みなと銀行

スマート農業セミナーの開催について ～丹波篠山市との連携協定に基づく連携事業～

関西みらいフィナンシャルグループのみなと銀行（社長 武市 寿一）は、丹波篠山市で「スマート農業セミナー」を開催しますのでお知らせします。

本セミナーでは、大手企業や新興スタートアップ企業の4社が登壇し、農業用ビニールハウスの強靱化やデータを可視化するセンサーシステム、ドローンを用いた個体情報取得、スマート農業実践に向けたコンサルティングなど、各社のサービス、製品を紹介するとともに、講演終了後には各社と参加者をつなぐ相談会を開き、スマート農業の現場実装をサポートします。

今年3月、みなと銀行は丹波篠山市と「農都創造に関する連携協定」を締結しており、本セミナーの開催を連携事業の1つに位置付けています。スマート農業の推進により、省人化や作業の機械化といった地域課題の解決につなげ、持続可能な農業、農村を次世代に引き継ぐことに貢献できるものと考えています。

みなと銀行は、セミナー開催をはじめ様々な金融・情報サービスの提供を通じて、地域の課題解決に貢献してまいります。

記

【セミナー概要】

| | |
|-----------|---------------------------|
| 日時 | 2023年7月27日（木）13:30～15:30 |
| 会場 | 丹波篠山市民センター（兵庫県丹波篠山市黒岡191） |
| 講演企業（登壇順） | ①株式会社農社 |
| | ②株式会社タカミヤ |
| | ③株式会社Momo |
| | ④株式会社マプリー |
| 主催 | 株式会社みなと銀行 |
| 協力 | 丹波篠山市 |

以上

参加
無料

スマート農業セミナー

豊かな農産物にめぐまれ、「農の都」と呼ばれる丹波篠山市。里山からため池、水田、川までのつながりが生み出す環境は、この地の宝です。一方、農業において人手不足に起因する省人化、機械導入が課題として存在しています。

これらの課題を解決し、持続可能な農業、農村を次世代に引き継ぐことを目的に、企業、スタートアップが登場し、その技術や製品を紹介します。

講演終了後には各企業担当者と直接話をする、相談機会を設けております。奮ってご参加ください。

※本セミナーは、丹波篠山市と株式会社みなと銀行が締結した、「農都創造に関する連携協定」に基づき実施します。

2023

7/ **27** 木 13:30~15:30

定員 会場 50名 (先着順)

会場 丹波篠山市民センター 催事場
〒669-2321 兵庫県丹波篠山市黒岡191

プログラム

13:30~13:35 丹波篠山市「開会のご挨拶」

株式会社農社 代表取締役 奥野竜平氏

13:35~13:55

「スマート農業技術で、もっとワクワクしよう！」

株式会社Momo 代表取締役 大津真人氏

14:15~14:35

「部会単位でAI/IoT活用できる
AgriPalette withについて」

株式会社タカミヤ 近畿営業所所長 藤本義弘氏

13:55~14:15

「農業用ビニールハウスの強靱化対策」

株式会社マプリー 代表取締役 山口圭司氏

14:35~14:55

「誰でも簡単にスマートフォンやドローンで
農作物の情報を取得」

14:55~15:25 相談会

講演内容詳細・申込方法は裏面へ

主催



みなと銀行

協力



丹波篠山市

お問合せ

株式会社みなと銀行

地域戦略部 岡本 (078) 333-3235

〔平日：9:00~17:00〕



株式会社農社

株式会社農社は、自社農園をベースに、農業に関する研究開発、コンサルティングに挑戦するスタートアップ企業です。

スマート農業の事例やロボットでの農薬散布(麦類・露地野菜)、ドローンでのリモートセンシング(枝豆・麦類)、環境配慮型圃場内除草試験など、これからの挑戦をご紹介します。



株式会社Momo

株式会社Momoが開発するセンシングからAI(人工知能)による解析や病害予知、みんなで楽しめる環境管理成績ランキングなどの機能がある「AgriPalette With (アグリパレット ウィズ)」について、実際の部会での取り組み・活用事例を元に発表します。



TAKAMIYA 株式会社タカミヤ

昨今、農業用ビニールハウスへの台風、積雪災害が増える中で、どのようなパイプハウスが災害に強いハウスなのか？現在、所有するハウスは一体どれくらいの風と積雪に耐えるのか？現在のハウスをどのように補強すればどれくらいの強さの風や雪に耐えるのか？――。

今後ますます大きくなるリスクを出来る限り未然に防ぐ対策をご提案します。



株式会社マプリー

スマートフォンで動画のように作物を撮るだけで収量予測などのための個体情報を取得。収量を予測をすることで、効率的な栽培管理や収穫・販売調整が可能になります。

ドローンでは、低価格であり飛行させる設定や管理の手間を限りなくおさえることで、圃場を見回らなくても作物の個体情報を取得し、効率的な栽培管理や収穫をサポートします。

FAX または E-mail より お申し込みください

FAX番号 : 078-331-8331

E-mail : okamoto-yuta@minatobk.co.jp

■ 株式会社みなと銀行 地域戦略部 岡本 宛 (電話番号 : 078-333-3235)

「スマート農業セミナー」申込書

株式会社みなと銀行 行

お申込日 : 2023年 月 日

| | | | |
|-------|--|---------|--|
| ご 芳 名 | | 貴 社 名 | |
| ご 住 所 | | | |
| T E L | | メールアドレス | |

■ 本セミナー参加申込にかかる個人情報等は、主催者および協力者、登壇企業の間で共有させていただきます。本申込に記載された個人情報等は、運営のほか上記関係者からの案内に利用させていただきます。

なお、個人情報の利用目的の全文など取扱いについては、[みなと銀行ホームページ](http://www.minatobk.co.jp) (※) をご覧ください。

※ https://www.minatobk.co.jp/util/kojin_jouhou.html